

HAL® 腰タイプ



<https://www.hal-care-support.jp>

製品仕様 HAL-BB04

■ 本体寸法、重量

機体サイズ	標準サイズ (mm)		
	2S	S	M
幅	396	450	510
奥行き	230	292	292
高さ	509	522	602

■ 適用サイズ ※あくまでも目安です。(cm)

腰幅	~ 30	30 ~ 36	36 ~ 42
身長	100 ~ 140	140 ~ 180	160 ~

重量: 約3.1kg (バッテリー含む) リチウムイオン二次電池
 動作時間: 4.5時間 ※使用状況により変わります。
 防水防塵性能: IEC保護等級 IP54

■ 本体構成

HAL本体	1台	充電カブラ	1個
バッテリー	1個	電極ケーブル	1本
充電器	1セット	取扱説明書	1冊

HALモニター



本製品は医療機器ではありません。HAL®を装着してトレーニングを行う際は、転倒防止器具を併用してください。

【ご注意】本製品は、万が一のリスクに備え非常安全ブレーキ機能を搭載しております。また、Personal care robot (人間のQOL向上のために行動するサービスロボット) の安全性に関する国際基準ISO 13482の認証を、装着型として世界で初めて取得しました。安全には最大限の配慮を行っておりますが、装着者本人の既往歴や体調を十分に考慮し、取扱説明書をよく読んでお使いください。装着中に異常を感じたら、無理をせず利用を中止してください。



ご契約は、レンタルと購入の2種類のプランがございます。ご契約期間と台数により、各種ご提案やお見積りものご相談ご用命を承ります。

○ご契約までの流れ (病院・クリニック・介護事業者様など)



製品に関するお問い合わせ、ご商談は

☎ 029-869-8448 (平日9:00~18:00)

🌐 <https://www.cyberdyne.jp/company/inquiry.php>

メールはこちらから



個人利用をご希望の方は

🔍

☎ 0120-25-3189 (平日10:00~19:00)



ロボケア通所または
実機お試しをご希望の方は

🔍

☎ 029-828-8282 (平日10:00~19:00)



販売代理店名

開発・製造元 サイバードyne 株式会社
CYBERDYNE 株式会社

〒305-0818 茨城県つくば市学園南二丁目2番地1 TEL: 029-855-3189 FAX: 029-855-3181
<https://www.cyberdyne.jp>

本カタログに記載している製品仕様、デザインなどは予告なしに変更することがございます。
 『CYBERDYNE』 『ROBOT SUIT』 『ROBOT SUIT HAL』 『ロボットスーツ HAL』 『HAL』 『Hybrid Assistive Limb』 は、CYBERDYNE (株) の登録商標です。
 本カタログに記載されている写真・イラストなどの無断転載・複製・複写はご遠慮ください。

FOMPG-088-07 Rev.004 2022/6/1

CYBERDYNE

HAL® Lumbar Type

HAL® が変えていく、介護の未来。

一台二役 介護する側とされる側 用途は2倍に!
 重介護ゼロ® 社会の実現に向けた新たなアプローチが始動



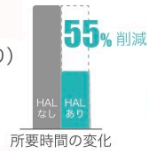
重介護ゼロ® 社会の実現

「介護は人の手で」そんな想いと、腰痛による離職対策をHAL®（以下、HAL）がお手伝いいたします。
介護される人の自立度の向上を促すことで、介護する人の身体的負担の低減が期待できるため、日本が抱える超高齢社会の課題解決のために双方向からアプローチし、健康寿命の延伸や重介護ゼロ® 社会の実現を目指します。

1 業務効率の向上

例：体位変換に要する時間の比較（一人当たり）

HALなし 1分30秒
HALあり 40秒 **50秒短縮**



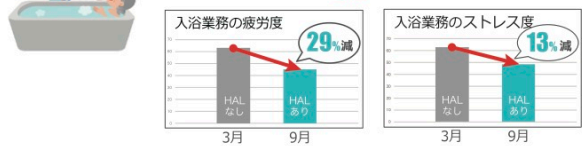
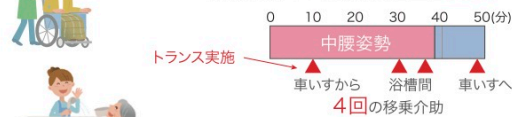
01 介護支援用途

02 自立支援用途

2 入浴業務における負荷低減

一人の入浴に要する時間 平均 50分 のうち

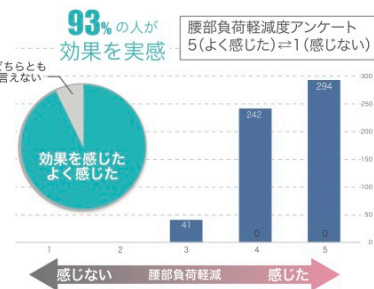
中腰維持での作業時間 平均 38分



3 介護する側のQOL向上も

夜勤業務における腰部負担軽減度意識調査

総使用回数577回(4月～9月)
1夜勤での平均使用 3～4回

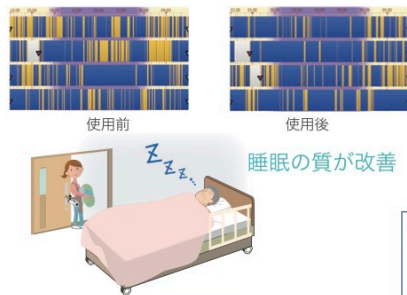


4 入所者様の満足度向上にも

入所者様の睡眠状態の評価

業務効率の向上により訪室作業時間が短縮

■：覚醒 ■：睡眠



入所者様の昼間の活動が活発になり
生活のリズムが整う

業務時間の短縮 見守り負担の軽減
協力動作の獲得 社会活動への参加

自立度向上に向けた取り組みを実施

体幹動作や立ち座り等の基本動作を繰り返し行うことで、
自立度の向上を促進し、介助者の身体的負担も軽減

二人介助 → 一人介助へ
おむつ卒業 尊厳のある生活

移乗介助や体位変換介助などの介護動作における
腰部の筋肉、椎間板にかかる負担を低減

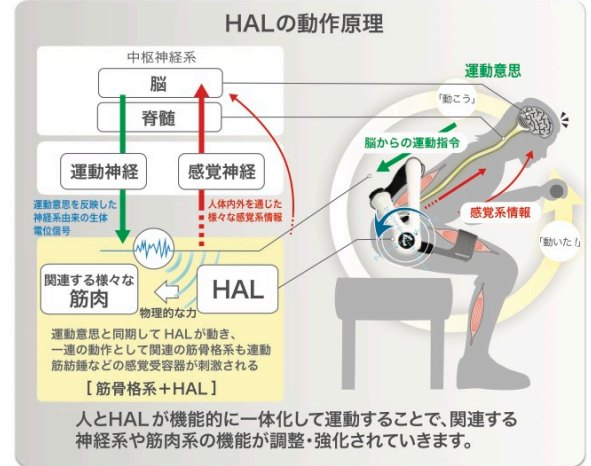
労働環境改善・離職率低下

腰痛による休職など労災の未然防止
在宅復帰率向上 介護報酬加算の実績
残業時間の短縮・有給取得率向上

HALだからできること

一台二役で、介護する人の腰痛予防対策だけでなく、介護される人の座位確保や、歩行などの身体機能の維持・向上、また、排泄系の改善等も期待できます。

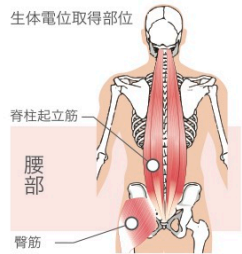
自身の運動意思に基づくアシスト



脳から筋肉へと伝達された微弱な指令信号を皮膚表面に貼り付けたセンサーで読み取り、HALはアシストします。

装着者の意思に基づいた動作を実現することで、脳からの信号がHALによる動作を通じて再び脳へと戻り、神経系や筋肉系の機能が調整・強化されていきます。

HALを装着することで筋負担をほぼ伴わずに動作が可能となり、座位の維持や立ち座りが困難な方でもご使用いただけます。



HALモニターで身体情報を可視化

HALが検出している身体情報をHALモニターで目視できるため、今までにない情報のフィードバックが得られ、理想的な体の動かし方や力の入れるタイミングを学習することができます。

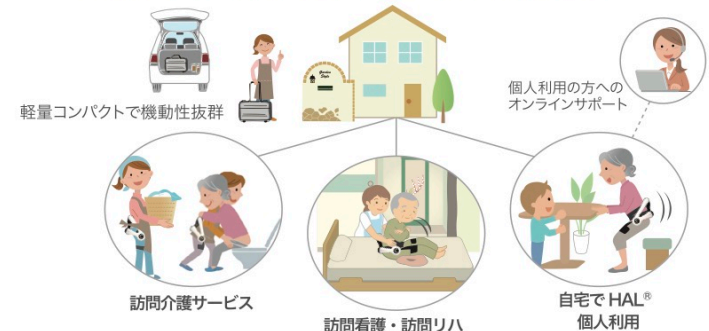
「安定して座れば」「捕まって立てれば」など、QOL向上への想いを実現するために、具体的な目標設定が可能になります。

表示イメージ

- ・生体電位信号
- ・股関節・体幹角度
- ・3D姿勢表示
- ・パラメータ



訪問リハや訪問介護サービスなど多用途に



帰宅後、疲れて何もする気にならなかったのに、余裕で家事をこなせます。
自分が高齢になると続けられない仕事だと思っていたけれど、HALのおかげで現役です。
心のゆとりが生まれ、自然と笑顔で入所者様に接することができます。

(導入施設様調べ)